

月報 2025 年 7 月 31 日 NO413

7 月号

四方通信



石城山岳会事務局編集

「蒲生岳→恵みの森・浅草岳」

7 月登山教室「燧ヶ岳」

「蒲生岳→恵みの森・浅草岳」

2025年7月5日（土）・6日（日）

参加者 国井、佐藤春、二瓶、山中、安部、山縣、猪狩、種市
秋葉、青天目、鈴木彩、須藤、赤塚園、赤塚将

7月山岳会山行は、当初、蒲生岳・浅草岳の予定でしたが、初日は猛暑を考慮して蒲生岳から布沢恵みの森に変更して、沢歩きになりました。長靴でも十分歩ける浅い川の中を歩き、涼しいひと時を過ごせました。宿は、「只見の森キャンプ場古民家一棟」を借り切り、宴会、早朝出発にあわせて早めの就寝。

＜コースタイム＞布沢恵みの森 8：40→ピストン→
布沢恵みの森 12：40



2日目 田子倉只見沢登山口から入叶津登山口へ縦走。

夜中に降った雨で目が覚め、上がるのか心配しましたが、早朝起き抜けのころには雨も上がり予定通りの出発となりました。最近の暑さを避けるため4時40分田子倉只見沢登山口を出発したが、直後から湿度が高く蒸し暑いため、体中から滝の汗が止まらない。水分、エネルギーチャージ、塩分をとりながら、ゆっくりと歩くも途中で山頂がはるかかなたに見えて心が折れそうになる。やっと稜線へ出て風が頬をなでるころ、田子倉湖、鬼ヶ面もはっきりと見えだし、ヒメサユリやコバイケイソウの花々も迎えてくれて頂上到達！おつかれ山でした！！頂上から守門岳もくっきり見えた！（稜線からの登り、頂上まで0.7km指標からがきつかった）

中、池塘あり、雪渓ありサンカヨウやシラネアオイ、ショウジョウバカマなど花も残っていました。

ただし、激下り箇所にはロープはありましたが、登山道にかけ崩れ箇所があり、巻いて下る箇所は、要注意でした。入叶津登山口へは、全員無事に予定時間より早く12時40分下山できました。やはり、夏場の登山は、気温の低いうちからの出発に設定して正解でした。

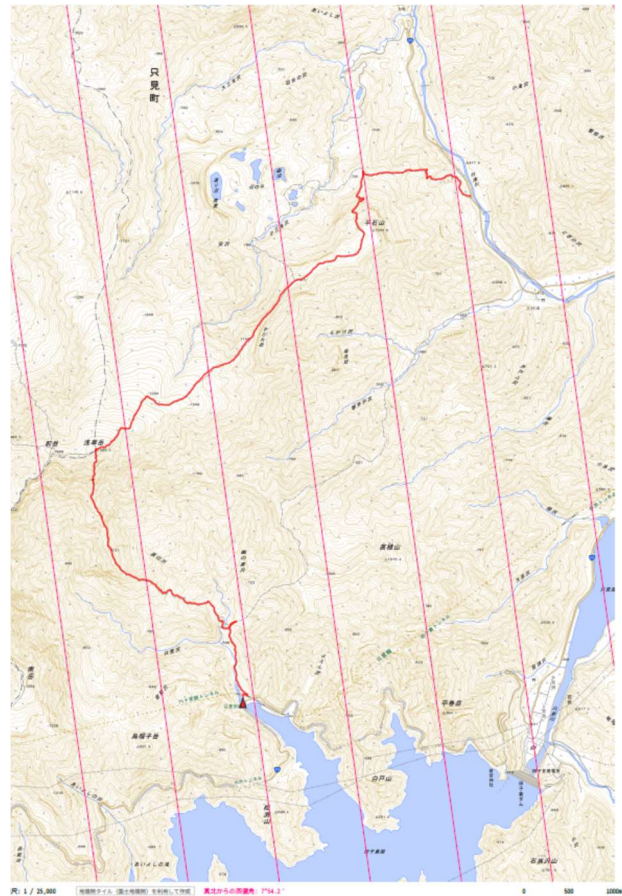


<コースタイム>只見沢登山口 4:40→剣ヶ峰 7:00→浅草岳 8:30→入叶津登山口下山 12:45

【文責：赤塚将】



布沢恵みの森



浅草岳

7月登山教室「燧ヶ岳」

2025年7月12日（土）・13日（日）

〔参加者〕

教室生(7名)：久保田、鈴木(勤)、小川、長谷川、志賀、佐藤(敦)、矢内

会 員(8名)：秋葉、山縣、青天目、根本、赤塚、比佐、種市、山中

山行の両日とも天候に恵まれた。

一週間前の山行の暑さが厳しかった報告を得て行動予定の入れ替えを行った。

出発日予定通り水石トンネルPを出発。

天気予報に反し途中霧雨・・・・

矢吹・白河と進むにしたがい天候回復・天気予報通り

道の駅しもごうでトイレ休憩を取ると気温が思いのほか低く、暑さ対策の服装に不安。

<1日目>

御池ロッジに予定より少し早めに到着したため、登山口予定より15分早めの7時45分出発

今日は燧裏林道を進む。

上田代は朝露に濡れたワタスゲで覆われ、ギョリンソウがひっそりと咲いていた。

燧裏林道は涼しい上、暑くなる前の早めの行動で快適。

一昨年の山行で寄らなかった三条ノ滝展望台へ向かうとなかなかの下り。

下った先に見た滝は、水しぶきがあたり一面に散り涼を生んでいた。

予定ではこの地点で昼食だが、一時間早い到着のため先へ。

平滑ノ滝展望台へ着くも、テン場の場所取りは早いもの勝ち！

テン泊組は場所確保にすでに先へ。

元湯山荘で昼食。

山行では、昼食に酢飯やパンを持つ会員さんもいて毎回学び。

桧枝岐小屋には2時間予定より早く到着。

テン泊組・小屋泊組の合流で、小屋前テラスで恒例の反省会。

小屋は入浴も可能で汗を流しサッパリ。



【コースタイム】

御池登山口 7:45 → 上田代 8:19 → 三条ノ滝展望台 10:31

→ 平滑ノ滝展望台 11:28 → 温泉小屋 12:12 → 見晴 12:44

<2日目>

気温が高めの情報により出発時間を 30 分繰り上げ、4 時半出発。

朝食は弁当に変更。海苔付きおにぎり（梅・シャケ）、しそ巻、きゅうりの漬け物、味付け玉子、ウインナー、フルーツミックス缶 226g!!

山頂近くは石の急登で、柴安峠から俎峠を望むと登り切れる感じがなかった。

予報通りの晴天で、至仏山や尾瀬ヶ原の景色に後押しをうけ、登り切れた。

柴安峠・俎峠でしばらく眺望を楽しむと予定時間通り。



下りは、岩・木道・岩・木道続きで。朽ちた木道で危うくケガをしそうなメンバーも。

熊沢田代に向かう道は残雪もあり、軽アイゼン、チェンスパイクの着装が必要。

転倒で滑ることもあるので準備はぬかりなく。

2 週間先あたりまで、残雪注意。

熊沢田代は、藪から一気に視界が開け一面ワタスゲ。

広沢田代の池塘側で小休憩の後、登山口へ戻る。

下山後、駒の湯にて汗を流し、全員ケガ無く帰路へ。



【コースタイム】

檜枝岐小屋 4 : 33 → 柴安峠 8 : 34 → 俎峠 9 : 47

→ 熊沢田代 11 : 19 → 広沢田代 12 : 14 → 御池登山口 13 : 14

(文責：矢内)

